



ルクセンブルク

デジタルビジネス展開の
ためのスマートな選択

LU  **EMBOURG**

LET'S MAKE IT HAPPEN

ルクセンブルクへようこそ。	p. 3
ヨーロッパへのゲートウェイ	p. 4
欧州市場向けデジタルサービス	p. 6
デジタル=標準	p. 8
優れたICTインフラ	p.11
サイバー セキュリティの専門知識	p.13
「SMARTHOODS」のための生きた実験場	p.14
有利なビジネス環境	p.16
ご提供するサポート	p.18

目次

ルクセンブルクへようこそ。

道と道が交わるこの国では、アイデアが拡がり、たくさんのイノベーションが生まれる。

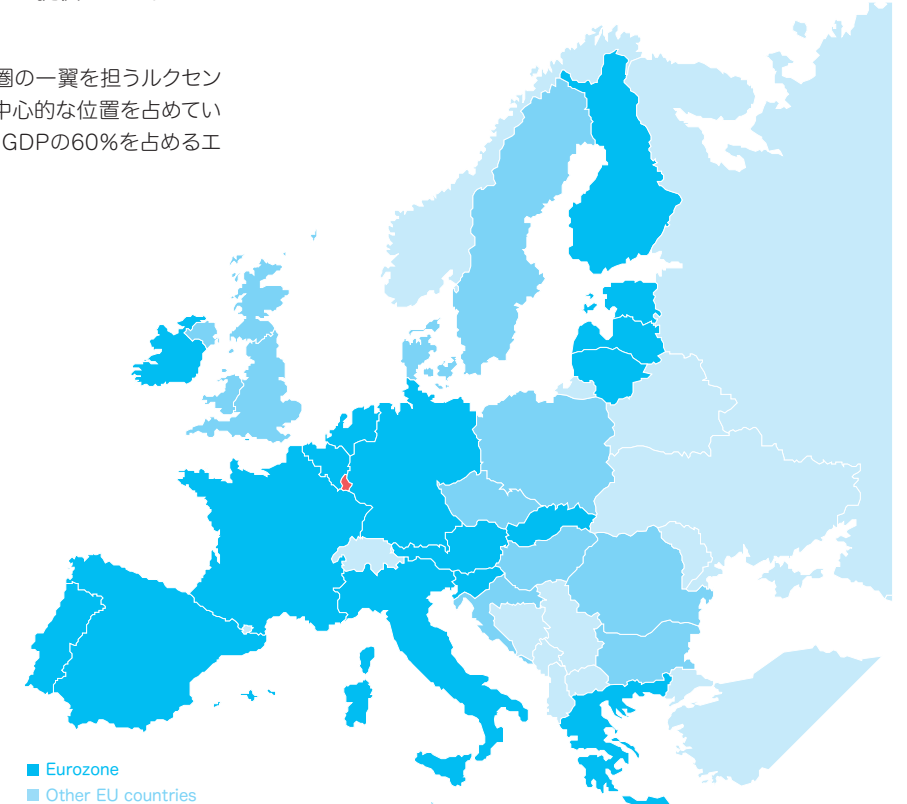
デジタルビジネスの立ち上げや拡大に適した場所をヨーロッパでお探しならば、ルクセンブルクはまさに理想的な国です。ルクセンブルクは、デジタル革命の最先端をリードする国であり、社会のあらゆる面に最新のテクノロジーが取り入れられています。ビジネスに対する柔軟な姿勢と世界有数のデジタルインフラが融合する国、それがルクセンブルクです。この国は、ヨーロッパをはじめ、世界中のクライアントを獲得し、製品サービスを提供するにあたって理想的なプラットフォームと言えます。

欧州連合 (EU) の原加盟国であり、ユーロ圏の一翼を担うルクセンブルクは、ヨーロッパの主要市場において中心的な位置を占めています。またわずか1時間のフライトで、EUのGDPの60%を占めるエリアに到達できます。

- ・ 単一市場 – 28カ国
(2015年GDP 14.6 兆ユーロ)
- ・ ユーロ圏 – 19カ国
(単一通貨 - ユーロ)
- ・ 5億人市場への容易なアクセス
- ・ 人・物・資本・サービスの移動の自由

ルクセンブルク市からの距離：

-----	パリ:380 km
-----	フランクフルト:250 km
-----	ブリュッセル:200 km



ヨーロッパへのゲートウェイ

ルクセンブルクは、ヨーロッパ、ひいては全世界で新たな製品やサービスを発売するにあたり最適の出発地点となります。きわめて多文化で多様化が進んでいながら国土面積が比較的小さいルクセンブルクは、コンセプト開発や新製品のテストを行う「生きた実験場」として活用できる場所です。欧州市場へのアクセスも良好で、安定した好ましい事業環境が整っているため、国際規模でビジネスを展開する優れた基盤が得られます。

現在ルクセンブルクは、SES、Delphi Powertrain Systems、Arcelor Mittalなどをはじめ、多国籍企業の本社が集まる中心地となっています。経済については、最高の物流インフラを備え、強力な輸出主導経済を実現しています。世界および欧州における国境を越えた活動に特化し、ヨーロッパをリードする金融中心地であるルクセンブルクには、国際貿易の法的小および規制上の枠組みが整備されており、EU法規にも迅速な対応が図られています。また、ルクセンブルクの商業的中立性と政治的中立性についてはよく知られていますが、この中立性によって国際的な取引関係が促進されることは、多くの企業が認めることとなっています。



理想的なテストベッド

ルクセンブルクは、主にその大きさと敏捷性という2つの理由から、国際企業にとって理想的なテストベッドであると言えます。小規模ながら利便性の良い国土には、多様な人口区分と物理的環境が揃っています。ルクセンブルクでは、政治家、主要政策決定者、そして各企業のCEOが身近な存在であることと、新たな技術進歩の最先端に立ち続けるという強い決意が一体となっています。これらの要因からルクセンブルクは、革新的なソリューションの実証実験や、必要となる規制改革、ソリューションの採用について非常に前向きです。公的研究機関も、製品開発やテストにおける企業との連携に熱心に取り組んでいます。さまざまなビジネスインキュベーター、ビジネスアクセラレーターが、事業の“仮拠点”を提供し、短期間での事業活動の発展を支えます。

多文化、多言語、高度なスキル

ルクセンブルクは人種構成が多様であるため、クライアントの母国語でコミュニケーションが取れる人材を容易に見つけることができます。これにより、クライアントのニーズを深く理解することができます。また、ルクセンブルクでは労働人口におけるITプロフェッショナルの割合が非常に高く、就労許可を求めるEU以外の国のICTスペシャリストに対する受け入れの遅れや煩雑な手続きを解消するための措置が講じられています。さらにITスキルの開発を推進することも、国のデジタル化戦略の優先課題のひとつとして掲げられています。

ヨーロッパの第二の住み家

多様な文化が共存する人種のるつぼ、ルクセンブルクは暮らしやすく、ヨーロッパでキャリアを積む拠点として、また、旅行をし、生活を楽しみ、家庭を持つといった面でも便利な国であると、世界各国から集まる駐在員らが感じています。ルクセンブルクでは、多様な人種のニーズに応えるため、充実した多言語の国立学校システムに加え、フランス語と英語を使用言語とする私立学校も設立されています。最近では、ルクセンブルク大学が世界の国際的な大学ランキングで2位にランクされました。

国際的人口構成

人口
590,700人
外国人比率 48%
国籍 170カ国以上

卓越した言語能力

フランス語

ルクセンブルク語

ドイツ語

英語も
多くの人が
使用可能。

高いスキルを持った 世界主義志向の労働者

労働人口の
72.8%が外国人

高いスキル
雇用
世界 1 位

『Global Talent
Competitiveness
Index 2017』
第 7 位

労働者の60%が中等教育以上の
資格を求められる。

ベルギー

ベルギー、フランス、ドイツから
毎日約179,000人の越境通勤者

ドイツ

フランス

国際人口データに脚注を追加(590,000:48%、170):
参照:Statec、2017年5月

欧州市場向けデジタルサービス



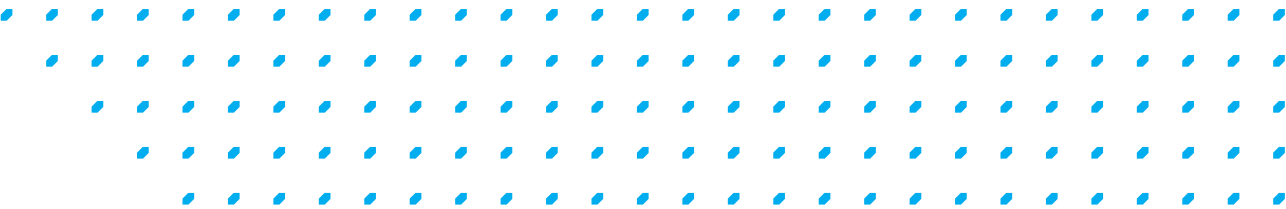
「ルクセンブルクは多くの 利点をもたらしました。」

大塚 年比古氏
RAKUTEN EUROPE BANK CEO

日本に本社を置き、インターネットサービスとグローバルインベーションをリードする楽天は、2008年にルクセンブルグに欧州本社を設立し、ヨーロッパの事業運営、財務、人事を監督しています。ルクセンブルク当局が発行する銀行業免許の取得後、楽天は2017年初めに「Rakuten Europe Bank S.A.」によるヨーロッパでの商業銀行業務を正式に開始しました。

1997年、日本のインターネット ショッピングモール「楽天市場」の創設とともに楽天はスタートしました。それ以来、楽天は国内外の市場で著しい成長を遂げ、現在では世界トップクラスのインターネットサービス企業のひとつに名を連ねています。現在、楽天グループはViber、Wuaki.tv、Aquafadas、PriceMinisterなど、幅広い事業を展開しており、日本では銀行および保険サービスまで幅広く提供しています。Rakuten Europe Bankは、日本でのこれまでの成功と同様に、ヨーロッパで銀行サービスを提供することを目指しています。

欧州本社をルクセンブルクに設置した理由は数多くあります。「ルクセンブルクは、インフラ全般が充実しており、汎欧州レベルの事業経営が容易に行えます」。Rakuten Europe BankのCEO、大塚年比古氏はこのように語ります。「ルクセンブルクは、さまざまなプロフェッショナルを採用できる素晴らしい国です。フィンテック コミュニティがとても充実しているので、非常に助かります」。楽天は、今後もルクセンブルクの拠点からヨーロッパに新たなサービスを創出・提供し、さらにエコシステムを発展させていこうとしています。



前提条件としてのデジタル

デジタル技術は、もはや単なる経済分野ではなく、経済の生命線であり、社会全体にとって不可欠な競争力の必須要素となっています。ルクセンブルクは、数十年にわたり通信産業のパイオニアであり続け、現在、ICTに関して世界有数の地位を築いています。その理由は何でしょうか？答えは、デジタル化を活動の基盤とするあらゆる企業が成長できるような、信頼のおけるデータハブになるという強い決意にあります。

数多くのグローバル企業はもとより、国際展開に意欲を燃やす活動的なスタートアップ企業もルクセンブルクを拠点としています。フィンテック、サイバーセキュリティ、ビッグデータおよびハイパフォーマンス コンピューティング、E-モビリティ、デジタルヘルスなど、エキサイティングで革新的な新たな活動によって、デジタルコンテンツ配信、オンライン小売プラットフォーム、通信サービス、クラウドサービスなど、ルクセンブルクのビジネス環境は絶えず改善されています。



参照：デジタル経済及び社会指数
(Digital Economy and Society
Index：DESI)2017、欧州委員会

政府の最優先課題

ルクセンブルクは、ヨーロッパ、ひいては全世界におけるビジネスチャンスに非常によく適応しています。特に、EUのデジタルシングルマーケットにおいては強力な役割を担うことを目指しています。ルクセンブルク政府は、既存の企業を支援するだけでなく、新たな投資を誘致し、若い企業を後押しするため、慎重に行動の準備を整えておく必要があることをよく認識しています。

テクノロジーはルクセンブルクの未来の中心にあり、政治家たちは不必要に介入することなく成長を実現することが自らの役割であることを理解しています。政府は、企業のニーズに耳を傾け、社会のあらゆる分野にイノベーションが行き渡るよう全力を尽くしています。また、デジタル化を標準設定として、企業の発展を後押しする新たな法がつくられています。公共サービスは、急速に変化する企業のニーズに十分に対応しており、分野別の資金調達プログラムやベンチャーキャピタルによって経済的障壁を克服できるよう図られています。

「当社は、ルクセンブルグにEUの拠点を確立しました。ルクセンブルクは、長らく電子決済やデータプライバシーにおいて世界をリードし、Amazon、PayPal、Skypeなど、多くのグローバル企業がヨーロッパ本社を設置している国として知られています。ルクセンブルグには、私たちが求めていた非常に強力なインフラと金融、セキュリティに関する意識が具現化されています」

Nejc Kodrič

Bitstamp CEOおよび創業者

Bitstamp

データ主導経済

データは、あらゆる業界において新たな通貨と言える存在となっているため、高価値の資産と同様に扱い、保護する必要があります。ルクセンブルクのインフラと法的枠組みは、データ処理とプライバシーに関する欧州指令と連動しており、極秘または大量のデータを格納、処理、収集整理できる安全性の高い「デジタルエンバシー」を提供しています。

ハイパフォーマンス コンピューティング—未来への投資

ハイパフォーマンス コンピューティング(HPC)は、世界中の産業とデジタルビジネスに革命をもたらしており、ルクセンブルクでも最近数年の間、優先課題に位置づけられています。ヨーロッパはこの分野で遅れをとっており、2015年末にルクセンブルクは、欧州連合理事会にHPCに関する汎欧州アプローチのアイデアを提案しました。ルクセンブルクは現在、EU加盟国数か国と共同で立ち上げたHPCおよびビッグデータ対応アプリケーションに関する「Important Project of Common European Interest」(IPCEI)において主導的な役割を担っています。

ルクセンブルクは、2018年にも毎秒1ペタフロップの性能を備えるHPCを実現する見込みです。これは、毎秒1,000,000,000,000,000回の演算処理が行われることを意味します。5年後に、世界最高のHPCインフラ3種類のひとつをヨーロッパに導入することが目標です。運用が可能になり次第、スマートエネルギー、スマートモビリティ、スマートマニュファクチャリング、ス

ルクセンブルグ
ヨーロッパ初の
取り組み。

- データの可逆性を提供
- EU決済サービス指令を施行
- 仮想通貨運用企業に対し決済機関ライセンスを発行

マートスペース、個別化医療、フィンテックなど、各分野の大規模な汎欧州プロジェクトでこのインフラが実用化される予定です。ビジネスニーズは非常に高く、特に中小企業にとっては、専門的なソリューションを開発し、関連バリューチェーンのギャップを埋めるチャンスが大いにあります。

フィンテックの推進

世界的に認められた金融の中心地であるルクセンブルクは、これまでの常識を打ち砕くようなフィンテック革命を率いるポジションにいます。ルクセンブルクは、非常に好意的な法規制の枠組みと、この分野の開発を推進する支援策を兼ね備えているからです。

すでにルクセンブルグには、資産管理、資本市場、保険、決済サービスなどの分野で活躍するさまざまなフィンテック企業やスタートアップ企業が拠点を置いています。また、銀行規制当局であるルクセンブルク金融監督委員会(CSSF)は、仮想通貨を監督対象として認識しています。ルクセンブルグを拠点とする企業は、金融センタールの一部として監督を必要とする「金融部門のプロフェッショナル」の認定を得ることで恩恵を受けることができ、またこれは投資家の保護と顧客の信頼を大幅に向上させることができます。

ブロックチェーン技術も、金融サービスの分野に大きな開かれた機会をもたらします。ルクセンブルクでは例えば、スタートアップや新たなサービスを開発している既存の企業が利用できるよう、信頼性が高く法令に準拠したブロックチェーン 基盤を開発する、インフラチェーンの取り組みが開始されました。

LHoFT(Luxembourg House of Financial Technology)は、ルクセンブルクのフィンテック専用のプラットフォームです。ソフトウェアのプラットフォームを含め、インキュベーションスペースやコワーキングスペースを提供するLHoFTは、ルクセンブルグのフィンテックエコシステム全体を結び、価値を創造します。

優れたICTインフラ

すべての人のための情報社会

デジタル経済の最前線のポジションを維持するため、ルクセンブルク政府は、「Digital Lëtzebuerg」という取組みを策定してベストプラクティスを開発し、新しいアイデアを生むためのフォーラムとしての役割を担い、国家のICT機能を強化および統合し、経済の多様化に大きく貢献しようとしています。クリエイティブでオープンなICTビジネスの推進方針と取組みがその柱となっています。しかし、ルクセンブルクが目指すのはそれだけではありません。「Digital Lëtzebuerg」の最終目標は、市民一人ひとりに利益をもたらす情報社会を実現することです。

未来への投資もさわめて重要です。学校中退者向けに教科課程外の教育を実施するため、「Luxembourg Tech School」という取組みが開始されました。「次のデジタルリーダーの育成」というスローガンの下、このプログラムでは次世代のデジタルイノベーターの育成を継続し、スキルを確保することが目標となっています。

ルクセンブルクを選ぶということ

ルクセンブルクは、その他にない強みの組み合わせにより、欧州委員会や多くの金融機関を含め、官民間問わず多数の団体を引きつけています。



amazon

bitFlyer

Bitstamp

CHAMP

ebay

euroms

KNEIF

MANGOPAY

Microsoft

PayPal

Rakuten

RTL GROUP

SES
beyond frontiers

Skype

SNAPSWAP

talkwalker

超低遅延ハブ



ヨーロッパ
主要都市へと
つながる
28の
国際光ファイバー
ルート



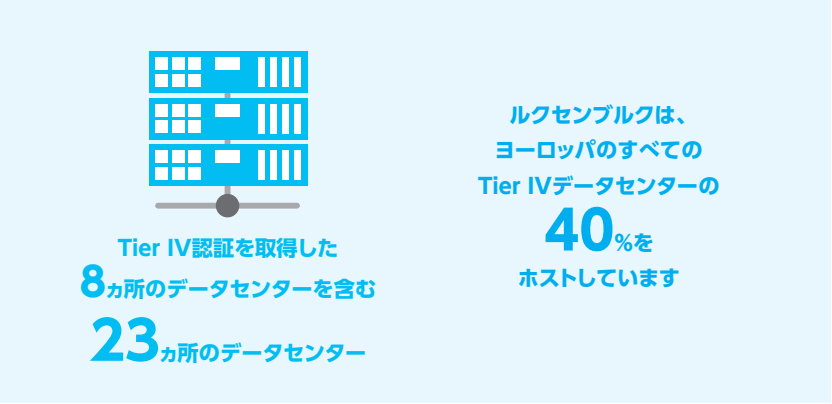
2015年から利用可能

- ・ 100 Mbpsのインターネット回線で人口の98%をカバー
- ・ 1 Gbps接続 (分 50%カバー)

2020年から利用可能

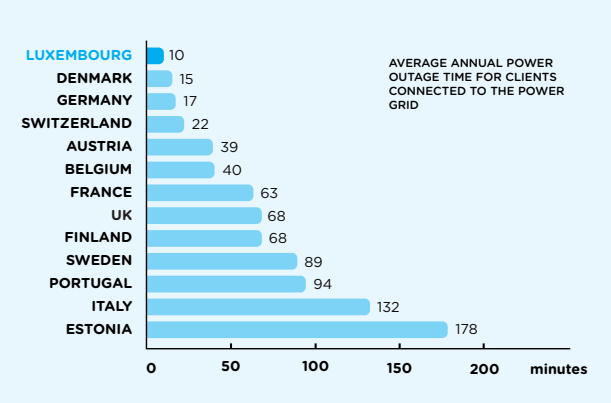
- ・ 超高速ブロードバンドが全国をカバー (「Fibre to the Home」)
- ・ 1 Gbps接続 (100%カバー)

「Luxembourg Commercial Internet Exchange」(LU-CIX)は、ラウンドトリップ時間が非常に短く輻輳のない高容量回線を提供します。



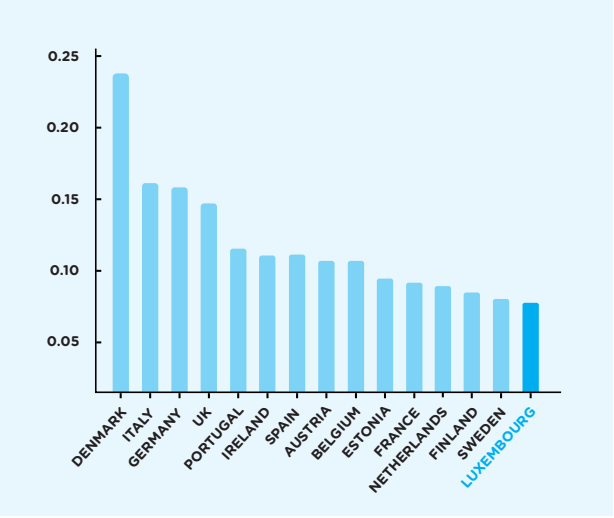
データセンターには、非常に安定した送電網から低コストで環境にやさしいエネルギーによって電力が供給されます。

欧州で最も信頼できる電力供給



Source: CEER Benchmark Report 5.1

低い電気料金



Source: Eurostat: Electricity prices for industrial customers, biannual data

サイバー セキュリティの専門知識

金融業界のニーズに対応するため、ルクセンブルクではあらゆる企業が容易に利用できる、きわめて高いレベルのサイバーセキュリティ標準技術を開発しています。個々のクライアントデータとシステムの保護に関するこの専門知識は、E-ビジネスと経済全体にとって不可欠の要素です。

強固で安全なICT環境

物理的セキュリティ	・ 高いレベルの冗長化、危機耐性、緊急回復サービスの提供 ・ バンド幅サプライヤーによる閉ループ制御システムの提供
デジタルセキュリティ	・ 暗号化や電子署名などの特徴、またDdOS攻撃に対するプロテクション
組織的要因	・ 危機管理の専門技術
法的保護	・ 市場のニーズに適応した法制

サイバー セキュリティ

多様な国家プラットフォームによりサイバーセキュリティの個々の側面に重点的に対処

ルクセンブルクの緊急対応コミュニティ、「CERT.LU」は、サイバーセキュリティ インシデントの監視と管理を行い、必要不可欠のインフラの保護、他国との重要情報の交換、一般への周知徹底にあたっています。

「SECURITYMADEIN.LU」は、サイバーセキュリティ企業の情報戦略フォーラムとしての役割を担っています。SECURITY-MADEIN.LUの2つの主要部門、CASES(Cyberworld Awareness and Security Enhancement Services Luxembourg)とCIRCL(Computer Incident Response Centre Luxembourg)は、企業や公共団体が考えられる脅威を認識し、システムやデータのリスクに対する保護、リスクの検出と軽減のための手段を確保できるよう、ツールや診断、トレーニングを提供しています。

活気に満ち急成長を遂げているスマートエコノミーのニーズを満たすため、「Cybersecurity Competence Centre C3」では、脅威インテリジェンス、サイバーセキュリティのスキル、専門知識と並び、モノのインターネット、宇宙技術、フィンテック、自動運転などの分野のトレーニングとテスト施設を提供しています。

安全で安定した信頼できるICTにおけるヨーロッパの中核拠点に
ルクセンブルク大学のSnT学際センター (SnT: Interdisciplinary Centre for Security, Reliability and Trust)は、ビジネスと関連が強く、国際競争力のあるICTの研究を実施しています。この研究では、安全で順応性の高いデータ管理、フィンテック、サイバーセキュリティ、衛星システム、コネクテッドビークル、スマートシティなどが主な対象領域となっています。著名な参加メンバーが関わるパートナーシッププログラムを通じて、SnTは、ルクセンブルク、ひいては全世界の企業に対し、長期的に期待できる確かな競争優位性をもたらすコンセプトを開発しています。

「SMARTHOODS」 のための生きた実験場



「ルクセンブルクを 拠点に選んだ理由は、 ICT分野のスタートアップ 企業にとって最適の環境が 整っていたためです」

LUCIANO SCATORCHIA、
PINGVALUE CEO

スタートアップ企業のPingvalueは、「スマートネイバーフッド」(地元地域で愛される製品、ブランド、体験を共有する社会コミュニティ)のためのオンラインプラットフォームやモバイルアプリを開発しています。Pingvalueを運営するイタリア出身の起業家たちは、欧州での事業展開の構想とともに、2014年にルクセンブルクで同社を設立しました。ルクセンブルクを拠点に選んだ理由は、ICT分野のスタートアップ企業にとって最適の環境が整っていたためです。現在、Pingvalueは、ルクセンブルク南部のベルヴァルを「生きた実験場」として活用して現実的な条件でアプリのテストを行っています。

Pingvalueのプラットフォームは、近隣地域の消費者と企業の両方に利点をもたらします。このプラットフォームでは、個人ユーザーは、自分の意見を発信したり、自分の関心をもとに信頼性の高いアドバイスを得たりできます。一方、参加企業は、顧客の理解やマーケティング活動の効果についての理解を向上できるユーザー分析データを利用できます。このプラットフォームは、さまざまなタイプの接続を利用しており、Wi-FiやBluetoothを活用してリアルタイムのやりとりを行うことが可能です。ネットワークの接続性において世界をリードするルクセンブルクは、ビジネスをスタートさせる最適の国と言えます。「ルクセンブルクは、透明性を備えたデジタルソリューションを模索しており、非常にセキュリティの充実した国です。透明性とセキュリティの点で、ルクセンブルクはPingvalueにとって適しています」。CEOのLuciano Scatorchia氏はこのように語ります。

ベルギーとスペインで最初のテストが行われた後、現在ベルヴァルで本格的なテストが実施されています。ベルヴァルは、オフィス、店舗、レストラン、住宅、ルクセンブルク大学のメインキャンパスなどがある新設地域です。「ベルヴァルは、地理的には狭い地域ですが、毎日何千人もの人々が通勤、通学、買い物のために訪れます」とScatorchia氏は言います。また、学生と会社員の存在から、年齢層の組み合わせにおいても興味深い地域であるといえます。ルクセンブルクの多国籍の住民、国外からの労働者、そして110ヵ国以上の国々からやってくる大学生をアプリテストの対象とすれば、理想的なテスト環境が得られます。Pingvalueは、ベルヴァルで成功を収めれば世界に進出する準備が整ったと言えるでしょう。

有利なビジネス環境



政治と経済の安定性

- ・ オープンで多様かつ安定した経済
- ・ トップクラスのGDP成長
- ・ 健全なマクロ経済ファンダメンタルズー「AAA」格付け国
- ・ EUで2番目に低い政府債務対GDP比（2016年は20.0%）
- ・ 世界の競争力のある経済ランキング第11位（IMD World Competitiveness Yearbook 2016）
- ・ 立憲君主制、議会民主主義



ビジネス志向の規制

- ・ 政府関係者への容易なアクセス
- ・ 合理化された透明な行政手続き
- ・ 有利な総税率
- ・ 二重課税条約の強力なネットワーク
- ・ 他のEU諸国と比較して魅力的な法人税率
- ・ 有利な間接人件費、高い生産性
- ・ 世界最高の労働生産性（1時間当たりGDP、2015年、OECD）
- ・ 有利な間接人件費



簡便な事業創成プロセス

- ・ インキュベーションからサクセス、アクセラレーションに至るICTスタートアップ企業向けの多くの支援策が整った強力なスタートアップエコシステム
- ・ 有限責任会社の簡素化：「1ユーロ・カンパニー」
- ・ 専門家によるサポートや「House of Entrepreneurship」（プロジェクト発案者や起業家のためのワンストップショップ）のアドバイスが容易に利用可能。



資本アクセス

- ・ 銀行、エンジェル投資家、ベンチャーキャピタルなど、民間資金への優れたアクセス
- ・ 国の投資銀行である「SNCF」が、ルクセンブルクに拠点を置く企業とそのプロジェクトに対する中長期の資金調達を専門に実施
- ・ 設立間もない有望なハイテクスタートアップ企業に対する「Digital Tech Fund」のベンチャーキャピタル支援
- ・ ヨーロッパの初期・後期段階の革新的技術系中小企業に対する「Luxembourg Future Fund」の投資
- ・ ルクセンブルクの輸出信用機関である「Office du Ducroire」がルクセンブルクを拠点とする企業の国際取引をサポート
- ・ 中小企業に対する魅力的な研究開発助成金、イノベーション助成金、投資支援



施設・設備

- ・ 土地とオフィススペースがすぐに利用可能
- ・ ルクセンブルクの中で最初の事業所となる場所を探している、スタートアップ企業や海外企業に対し、国のインキュベーション施設「Technoport」が16,000㎡のスペースを提供（オフィススペース、コワーキングスペース、業界ワークショップ）



研究開発能力

- ・ 研究を重視するルクセンブルク大学は、特に科学技術コミュニケーション学部、SnT学際センター（SnT）、ルクセンブルク・システムバイオメディシン・センター（LCSB）において高いレベルのICT関連研究を行っています。
- ・ ルクセンブルク科学技術研究所（LIST）は、原料、環境、ITの分野で積極的に活動する研究・技術団体です。
- ・ ルクセンブルク保健機関（LIH）は、研究により知見を創出し、ヘルスケアと個別化医療の将来の課題に影響を与える臨床応用に知見を転換しています。

ご提供するサポート

ルクセンブルクについて、そして、この国にあるビジネスチャンスをどのように活用できるかについて、もっと詳しく知りたいですか？私たちは、国際企業のサポートにおいて豊富な経験があるため、有益な情報と個別の支援を提供できます。

詳細な情報

ルクセンブルクでの事業活動のあらゆる側面に関して、迅速かつ信頼できる情報提供をご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

個別のニーズに合ったルクセンブルク訪問

わずか2日間で、政府関係者、サービスプロバイダー、パートナー候補など、関係者全員に面会できる個別の訪問プログラムを手配可能です。当局の利用のしやすさと協力姿勢を特に良くご理解いただけるはずです。

鍵となるネットワークの紹介

業界のスペシャリストが、潜在顧客やビジネスパートナー、イノベーションパートナー、研究開発パートナーの候補を特定し、ご紹介します。

会社設立支援

ルクセンブルクで会社を設立する手続きをガイドし、迅速かつ確実な進捗の道筋を示します。

ルクスイノベーション

David Foy
Phone +352 43 62 63 686
E-mail david.foy@luxinnovation.lu
www.luxinnovation.lu

ルクセンブルク経済省

Michele Gallo
Phone +352 247-84 151
E-mail michele.gallo@eco.etat.lu
www.gouvernement.lu/meco

日本でのお問い合わせ先：

ルクセンブルク貿易投資事務所

東京都千代田区四番町8-9
ルクセンブルク大使館内
TEL (03)-3265-9621
E-mail tiotokyo@mae.etat.lu
https://www.investinluxembourg.jp/ja/

ご連絡
ください。



Supported by:



© Luxinnovation, October 2017

